

P5-5

院内がん登録システム「Hos-CanR
Next」から頭頸部悪性腫瘍全国登録
(HNCプロジェクト)へのデータ提出
方法についての検討

演題番号: P5-5

演者名: 佐々木和宏¹⁾、中田豊子²⁾、秋山巧³⁾、原田盛弘³⁾、
野村秀宏²⁾、山内達彦³⁾

施設名: 佐賀大学医学部附属病院¹⁾、株式会社DTS²⁾

はじまり

- 日本頭頸部癌学会で、「日本における頭頸部悪性腫瘍癌登録事業の実施」という研究を行っている。この研究は、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、歯科口腔外科領域の悪性腫瘍に対して手術、放射線療法、化学療法（抗がん剤治療）を受けた患者さんの臨床的な情報を調査するものである。

目的

- 日本頭頸部癌学会（以下、学会）が実施する頭頸部悪性腫瘍全国登録（HNCプロジェクト）（以下、全国登録）データ提出院内がん登録データを利用するための当院での運用方法について証を行う。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

頭頸部悪性腫瘍全国登録

日本頭頸部癌学会（HNCプロジェクト）

Hos-CaNet

Nex

[illegible]

方法 / 対象症例

対象症例は、以下に該当する。

- 産前産後、胎動異常、破産（上・中・下）、臍・胎盤異常、呼吸器障害、発熱（胎児上皮膚の温度計）（胎動転移）のいずれでもある。
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科で治療を行った初治治療症例。
（産前産後のみ含む）
① 胎動異常を指摘した事例と、「他施設受診（初診時）」「初診時に胎動異常に自覚し来院」と、「経過観察を含む」初診後に病態を続けた症例が、当該診療科専任医が全面診断・治療責任である。②、一次診療機関にて変換される。
- 治療開始日が2021年1月1日から2021年12月31日までの間にある。

方法 / 使用するシステム

使用するシステムは、3つ

- 国立がん研究センターが提供する院内がん登録システム「Hos-Can® Next」
- 日本言語聴覚学会が配布する頭頸部悪性腫瘍登録受発ツール (InfoMaker)
- 日本言語聴覚学会頭頸部悪性腫瘍全国登録システム (※ PC の設置とネットワーク環境が必要)

※ 以下、全国登録システム

方法 / 全体の流れ

- 1.対象者抽出** **FNC-Hos-Carr Next**
- 2.取り込み** **FNC**
- 3.対応表の出力** **FNC**
- 4.入力** **FNC**
- 5.提出** **FNC**

新内 がん登録

耳鼻咽喉科 頭頸部外科

方法 / タイムスケジュール

2021年		2022年												
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
参加人数 (人)		④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	①	②	③	④
作業		資料 取込み 入力					資料 取込み 入力				資料 取込み 入力		評価	資料 取込み 入力
参加人数 (人)		1 ~ ④				5 ~ ⑧			9 ~ ⑫			① ~ ④		

● 両年人数決定の責任は「オーナー」

● 2021年8月～2022年4月の参加人数の推移を右の表に示す。2022年4月～は、2021年8月以降の「その月の参加人数」を2022年4月の参加人数に置き換えて示す。

● 2021年8月～2022年4月の参加人数の推移を右の表に示す。2022年4月～は、2021年8月以降の「その月の参加人数」を2022年4月の参加人数に置き換えて示す。

● 2021年8月～2022年4月の参加人数の推移を右の表に示す。2022年4月～は、2021年8月以降の「その月の参加人数」を2022年4月の参加人数に置き換えて示す。

方法 / 院内がん登録室の作業

※作業フローチャート（4回/年）

① Hos-CanR
登録室の手配等は、皆が完了した時点で、システムにアップロードし、院内がん登録室に送付して作業開始。

※登録室の手配等は、皆が完了した時点で、システムにアップロードし、院内がん登録室に送付して作業開始。

② 全国登録システム
（全県がんセンター、院内がん登録室）

③ 登録部属性情報・登録室登録ツール
（全県がんセンター、院内がん登録室）

④ 作成・対応・表裏印刷・検付・資料に完了

結果1/出力設定

● 当院で行った出力方法として、国立がん研究センターが提供する「がん登録システムHos-Can Next」に標準で搭載されている「頭頸部腫瘍病期出力設定」を用いて、全国登録に必要な条件を列挙するために、各自に、「頭頸部腫瘍病期出力設定」を抽出条件を作成した。

【抽出した条件】

- 診断年が2021年であること。
- 症例区分が「2021/1/30/31」のいずれかであること。
- 診療科が「耳鼻咽喉科」「頭頸部外科」のいずれかを含むこと。
(複数科の診療科がある場合、部分一致とする。)

Hos-CanR Next 出力設定について

Hos-CanR Next 出力設定ってなに？

→Hos-CanR では、データをファイルに出力するときに「出力設定」を作成して利用します

条件に該当する症例を出力する：「出力設定」を作成する

- ・ 抽出条件：どんな症例で出力するのか？
- ・ 表示設定：どの項目を出力するのか？

『出力設定』

Hos-CaRr Next : 出力設定の順番

Hos-CaRr Next 出力設定ってなに？
出力設定を使ったデータ出力までのステップ

STEP1
抽出条件を作成
抽出日：2023年
収録区分：701
121 | 130 371 | ...

STEP2
表示設定を作成
統計コード
収録区分
収録年次
集計単位等入力...

STEP3
出力設定を作成
集計区分
出力形式

STEP4
ファイル出力
【保存先】
場所 種類

結果1/出力設定 対対象者抽出 Hos-CaNR Next

【佐賀大】頭頸部腫瘍 出力設定

1.抽出条件の変更

☒ 部位コード	標準設定 +C760：原発不明（扁平上皮癌の腫瘍）(首・顔・転移)
☒ 症例区分	2021（毎年、初回出力時：該当なしに変更）
☒ 診療科テキスト	症例区分：20, 21, 30, 31（固定） 耳鼻咽喉科、頭頸部外科（固定）
☒ 出力流す方法	なし（固定）

2.出力形式は標準設定を採用

頭頸部腫瘍用 表示、出力項目設定

結果1/出力設定 ※対象者抽出

ファイル出力

※注視点：毎年、初回出力時に経年度の更新を行う。

Hos-Cank Nex

結果1/出力設定 対称性項目抽出 Hos-CnR Next

名前/項目抽出	対称性	対称性
経年相関係数	対称性	対称性
主成分1	対称性	対称性
経年相関係数 <対称性>	対称性	対称性
TNNの成分 (UCCP)の成分	TNNの成分 (UCCP)の成分	TNNの成分 (UCCP)の成分
PTNNの成分 (UCCP)の成分	PTNNの成分 (UCCP)の成分	PTNNの成分 (UCCP)の成分
対称性	対称性	対称性
対称性	対称性	対称性

ファイル1: Hos-CnRから出力データとして出力される項目

変数1/項目	対称性
対称性	対称性

ファイル2: Hos-CnRから出力済データとして出力される項目

変数1/項目	対称性
対称性	対称性

- Hos-Canから対象年の頭頸部データ全出力
 - ☑ 診療科入力漏れがないか
 - ☑ 初発初回治療症例で頭頸部出力済フラグがないが残っていないか
 - ☑ いずれかで該当あれば出力する

結果2/アリババ管理設定

● さらに、再出力制御設定を追加し、出力したデータは出力済みとなつて以降の全国登録採用ファイル出力の対象外とした。

出力履歴一覧

How-Can! Next



輸出先国名: 中国(香港)

- ① 全国登録システムに取り込むデータを出力する際、1番目(中国)を1に強制出力を回避した。
- ② How-Can! Nextに取り込む(登録部が力添えプログラムを1に更新)

出力結果:
 (再入力)登録部採用 出力済み→出力設定

CSV



登録部が力添えプログラムを1に更新

[illegible]

結果3/登録の検証

● 次に、「Hos-Can R Next」から出力した98件と、全国登録に提出した58件の差分の内訳は 下記となった。

① 出力基準 12件	③ 症例番号なし 25件
② 多重がルール 1件	④ 登録対象外 2件

合致58件

結果3/登録の検証

①出力基準の違い 12件

- 出力基準が院内がん登録は診断日、全国登録が治療開始日であるため生じもの（年をまたいだ時に発生）

例）

2021/12/25 CT検査	2022/01/12 手術
	
院内がん登録からの出力日 診断日	全国登録システムからの出力日 治療開始日

結果3/登録の検証

②多重がルールによる判定の違い 1件

- 院内がん登録で用いられる多重がルールによる判定の違いによる

◆院内がん登録

「多重がルールSEER2018準拠」に従って判定を行っている



臨床診断による再発症を取り込まれていた場合、全国登録で確定する原則外とする運用とした。

結果3/登録の検証

③ 全国登録システムの症例番号なし 25件 つまり登録漏れ

● 全国登録の症例番号がないもの

全国登録にない症例は患者ID番号リストに含めした症例のみ出力する設定を追加したため登録漏れを防ぐことができた！

有償電話帳・医師外注では
近付特サマリーから登録して!

結果3/登録の検証

④登録対象外 2件



学会から配布される「頭頸部悪性腫瘍・登録変換ツール」で変換対象外となり、て現われることを確認し、注



経過観察

結論

- 当院で生成した抽出条件を用いた院内がん登録データの全国登録へのデータ抽出方法について検証を行い、明らかとなった問題点について抽出条件の修正を行った。

① 抽出条件の修正

① 抽出条件の修正
② 抽出条件の修正
③ 抽出条件の修正

④ 抽出条件の修正

④ 抽出条件の修正
⑤ 抽出条件の修正

結論

2023年症例から本稼働が可能と判断する。



案件度もよく！

五島晴樹 | 遠藤孝典 | 藤田 大

読者席で性暴力被害者支援隊

Hos-Can R New